

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

シラバス参照

講義名	情報処理基礎 地域経営Aクラス		
(副題)			
開講責任部署	地域経営学部 地域経営学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	1.00
代表曜日	月曜日	代表時限	4時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	地域経営学科		
対象年次	1		

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 馬場 祥次	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. レポート作成、図表作成技術を活用できる。 2. 表計算でのデータを理解し適切に扱える。 3. グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。
授業概要(教育目的)	<p>今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。</p> <p>本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。</p>
授業計画概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータとネットワークの基礎知識 2. キャンパスグループウェアの利用方法 3. 情報セキュリティとネチケット 4. 文書処理① (Wordの基本操作) 5. 文書処理② (書式の設定) 6. 文書処理③ (表作成、図の挿入) 7. 文書処理④ (長文レポート編集と文書校閲) 8. 表計算データ処理① (数式、関数の利用) 9. 表計算データ処理② (ヒストグラムの作成) 10. 表計算データ処理③ (様々なグラフ利用) 11. 表計算データ処理④ (データ抽出, クロス集計) 12. 表計算統計分析① (基本的な統計関数: 代表値) 13. 表計算統計分析② (散布図と相関) 14. 表計算統計分析③ (回帰曲線と予測) 15. 実データ (学術データ等含む) 課題演習 (実データ検討)

授業計画表

※事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。

回	担当教員・担当教員フリーテキスト	内容	予習	復習
第1回	馬場 祥次	1. コンピュータとネットワークの基礎知識	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。

第2回	馬場 祥次	2. キャンパスグループウェアの利用方法	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第3回	馬場 祥次	3. 情報セキュリティとネット	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第4回	馬場 祥次	4. 文書処理① (Wordの基本操作)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第5回	馬場 祥次	5. 文書処理② (書式の設定)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第6回	馬場 祥次	6. 文書処理③ (表作成、図の挿入)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第7回	馬場 祥次	7. 文書処理④ (長文レポート編集と文書校閲)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第8回	馬場 祥次	8. 表計算データ処理① (数式、関数の利用)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第9回	馬場 祥次	9. 表計算データ処理② (ヒストグラムの作成)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第10回	馬場 祥次	10. 表計算データ処理③ (様々なグラフ利用)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第11回	馬場 祥次	11. 表計算データ処理④ (データ抽出, クロス集計)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第12回	馬場 祥次	12. 表計算統計分析① (基本的な統計関数: 代表値)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第13回	馬場 祥次	13. 表計算統計分析② (散布図と相関)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。インターネットなどで内容を調べる。	実践した内容を再度実施する。
第14回	馬場 祥次	14. 表計算統計分析③ (回帰曲線と予測)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。インターネットなどで内容を調べる。	実践した内容を再度実施する。
第15回	馬場 祥次	15. 実データ (学術データ等含む) 課題演習 (実データ検討)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。インターネットなどで内容を調べる。	実践した内容を再度実施する。

評価方法	課題の提出出席状況等により総合的に評価する。
参考文献	授業用Webサイトにて随時紹介する。
講義時使用テキスト	「情報リテラシー Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム (株)
学生へのメッセージ	1. 実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。テキストは随時改訂されているので必ず購入し、ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。
課題に対するフィードバック方法	成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出してください。
卒業認定・学位授与の方針との関連	「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

シラバス参照

講義名	情報処理基礎 地域経営B・人間健康再履修		
(副題)			
開講責任部署	地域経営学部 地域経営学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	1.00
代表曜日	金曜日	代表時限	2時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	地域経営学科		
対象年次	1		

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 馬場 祥次	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. レポート作成、図表作成技術を活用できる。 2. 表計算でのデータを理解し適切に扱える。 3. グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。
授業概要(教育目的)	<p>今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。</p> <p>本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。</p>
授業計画概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータとネットワークの基礎知識 2. キャンパスグループウェアの利用方法 3. 情報セキュリティとネチケット 4. 文書処理① (Wordの基本操作) 5. 文書処理② (書式の設定) 6. 文書処理③ (表作成、図の挿入) 7. 文書処理④ (長文レポート編集と文書校閲) 8. 表計算データ処理① (数式、関数の利用) 9. 表計算データ処理② (ヒストグラムの作成) 10. 表計算データ処理③ (様々なグラフ利用) 11. 表計算データ処理④ (データ抽出, クロス集計) 12. 表計算統計分析① (基本的な統計関数:代表値) 13. 表計算統計分析② (散布図と相関) 14. 表計算統計分析③ (回帰曲線と予測) 15. 実データ (学術データ等含む) 課題演習 (実データ検討)

授業計画表

※事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。

回	担当教員・担当教員フリーテキスト	内容	予習	復習
第1回	馬場 祥次	1. コンピュータとネットワークの基礎知識	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。

第2回	馬場 祥次	2. キャンパスグループウェアの利用方法	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第3回	馬場 祥次	3. 情報セキュリティとネット	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第4回	馬場 祥次	4. 文書処理① (Wordの基本操作)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第5回	馬場 祥次	5. 文書処理② (書式の設定)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第6回	馬場 祥次	6. 文書処理③ (表作成、図の挿入)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第7回	馬場 祥次	7. 文書処理④ (長文レポート編集と文書校閲)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第8回	馬場 祥次	8. 表計算データ処理① (数式、関数の利用)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第9回	馬場 祥次	9. 表計算データ処理② (ヒストグラムの作成)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第10回	馬場 祥次	10. 表計算データ処理③ (様々なグラフ利用)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第11回	馬場 祥次	11. 表計算データ処理④ (データ抽出, クロス集計)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第12回	馬場 祥次	12. 表計算統計分析① (基本的な統計関数: 代表値)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
第13回	馬場 祥次	13. 表計算統計分析② (散布図と相関)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。インターネットなどで内容を調べる。	実践した内容を再度実施する。
第14回	馬場 祥次	14. 表計算統計分析③ (回帰曲線と予測)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。インターネットなどで内容を調べる。	実践した内容を再度実施する。
第15回	馬場 祥次	15. 実データ (学術データ等含む) 課題演習 (実データ検討)	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。インターネットなどで内容を調べる。	実践した内容を再度実施する。

評価方法	課題の提出出席状況等により総合的に評価する。
参考文献	授業用Webサイトにて随時紹介する。
講義時使用テキスト	「情報リテラシー Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム (株)
学生へのメッセージ	1. 実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。テキストは随時改訂されているので必ず購入し、ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。
課題に対するフィードバック方法	成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出してください。
卒業認定・学位授与の方針との関連	「読む、書く、聞く、話す、ITを用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

シラバス参照

講義名	情報処理基礎 人間健康Aクラス		
(副題)			
開講責任部署	健康医療学部 人間健康学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	1.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	人間健康学科		
対象年次	1		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 村本 卓	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. レポート作成、図表作成技術を活用できる。 2. 基本的な統計分析ができる。 3. グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができる。
授業概要(教育目的)	<p>今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。</p> <p>本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。</p>
授業計画概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータとネットワークの基礎知識 2. キャンパスグループウェアの利用方法 3. 情報セキュリティと情報倫理 4. 文書処理(1)－Wordの基本操作 5. 文書処理(2)－書式の設定 6. 文書処理(3)－表作成、図の挿入 7. 文書処理(4)－長文レポート編集と文書校閲 8. 表計算(1)－数式、関数の利用 9. 表計算(2)－ヒストグラム作成 10. 表計算(3)－様々なグラフ利用 11. 表計算(4)－データ抽出、クロス集計 12. 表計算統計分析(1)－基本的な統計関数：代表値 13. 表計算統計分析(2)－散布図と相関 14. 表計算統計分析(3)－回帰曲線と予測 15. 実データ(学術データ等含む)課題演習

授業計画表

※事事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。

回	担当教員・担当教員フリーテキスト	内容	予習	復習
第1回	村本 卓	コンピュータとネットワークの基礎知識	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する

第2回	村本 卓	キャンパスグループウェアの利用方法	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第3回	村本 卓	情報セキュリティと情報倫理	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第4回	村本 卓	文書処理①（Wordの基本操作）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第5回	村本 卓	文書処理②（書式の設定）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第6回	村本 卓	文書処理③（表作成、図の挿入）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第7回	村本 卓	文書処理④（長文レポート編集と文書校閲）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第8回	村本 卓	表計算①（数式、関数の利用）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第9回	村本 卓	表計算②（ヒストグラム作成）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第10回	村本 卓	表計算③（様々なグラフ利用）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第11回	村本 卓	表計算④（データ抽出、クロス集計）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第12回	村本 卓	表計算統計分析①（基本的な統計関数；代表値）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第13回	村本 卓	表計算統計分析②（散布図と相関）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第14回	村本 卓	表計算統計分析③（回帰曲線と予測）	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第15回	村本 卓	実データ（学術データ等含む） 課題演習	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する

評価方法	課題の提出状況等により総合的に評価する。
参考文献	授業用Webサイトにて随時紹介する。
講義時使用テキスト	「情報リテラシー Windows10 office2019対応」富士通エフ・オー・エム（株）
学生へのメッセージ	【履修上の注意】 1. 実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。 ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。
課題に対するフィードバック方法	演習課題は、課題完成度の確認結果をフィードバックする。 成績を知りたい学生には個別に開示する。
卒業認定・学位授与の方針との関連	豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

シラバス参照

講義名	情報処理基礎 人間健康Bクラス		
(副題)			
開講責任部署	健康医療学部 人間健康学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	1.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	人間健康学科		
対象年次	1		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 坂本 貴博	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. レポート作成、図表作成技術を活用できる。 2. 表計算ソフトで基礎的計算設定やグラフの作成ができる。 3. 表計算ソフトでデータ分析ができる。
授業概要(教育目的)	<p>今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。</p> <p>本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。</p>
授業計画概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータとネットワークの基礎知識 2. キャンパスグループウェアの利用方法 3. 情報セキュリティと情報倫理 4. 文書処理(1)－Wordの基本操作 5. 文書処理(2)－書式の設定 6. 文書処理(3)－表作成、図の挿入 7. 文書処理(4)－長文レポート編集と文書校閲 8. 表計算(1)－数式、関数の利用 9. 表計算(2)－ヒストグラム作成 10. 表計算(3)－様々なグラフ利用 11. 表計算(4)－データ抽出、クロス集計 12. 表計算統計分析(1)－基本的な統計関数：代表値 13. 表計算統計分析(2)－散布図と相関 14. 表計算統計分析(3)－回帰曲線と予測 15. 実データ(学術データ等含む)課題演習

授業計画表

※事事前事後学習(予習・復習)に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義(90分)に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。

回	担当教員・担当教員フリーテキスト	内容	予習	復習
第1回	坂本 貴博	コンピュータとネットワークの基礎知識	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する

第2回	坂本 貴博	キャンパスグループウェアの利用方法	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第3回	坂本 貴博	情報セキュリティと情報倫理	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第4回	坂本 貴博	文書処理① (Wordの基本操作)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第5回	坂本 貴博	文書処理② (書式の設定)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第6回	坂本 貴博	文書処理③ (表作成、図の挿入)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第7回	坂本 貴博	文書処理④ (長文レポート編集と文書校閲)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第8回	坂本 貴博	表計算① (数式、関数の利用)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第9回	坂本 貴博	表計算② (ヒストグラム作成)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第10回	坂本 貴博	表計算③ (様々なグラフ利用)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第11回	坂本 貴博	表計算④ (データ抽出、クロス集計)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第12回	坂本 貴博	表計算統計分析① (基本的な統計関数; 代表値)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第13回	坂本 貴博	表計算統計分析② (散布図と相関)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	実践した内容を再度実施する。
第14回	坂本 貴博	表計算統計分析③ (回帰曲線と予測)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第15回	坂本 貴博	実データ (学術データ等含む) 課題演習	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する

評価方法	課題の提出状況等により総合的に評価する。
参考文献	授業用Webサイトにて随時紹介する。
講義時使用テキスト	「情報リテラシー Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム (株)
学生へのメッセージ	1. 実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補う必要がある。テキストは随時改訂されているので必ず購入し、ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。
課題に対するフィードバック方法	成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出してください。
卒業認定・学位授与の方針との関連	豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。
実務経験との関連	システムエンジニアとして、コンピュータシステム会社に勤務。技術者としての経験を活かして、社会で必要とされる情報技術を解説します。

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

シラバス参照

講義名	情報処理基礎 看護Aクラス		
(副題)			
開講責任部署	健康医療学部 看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	1.00
代表曜日	火曜日	代表時限	2時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	看護学科		
対象年次	1		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 村本 卓	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標 (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. レポート作成、図表作成技術を活用できる。 2. 基礎的な統計分析ができる。 3. グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。
授業概要 (教育目的)	<p>今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。</p>
授業計画概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータとネットワークの基礎知識 2. キャンパスグループウェアの利用方法 3. 情報セキュリティと情報倫理 4. 文書処理① (Wordの基本操作) 5. 文書処理② (書式の設定) 6. 文書処理③ (表作成、図の挿入) 7. 文書処理④ (長文レポート編集と文書校閲) 8. 表計算データ処理① (数式、関数の利用) 9. 表計算データ処理② (ヒストグラムの作成) 10. 表計算データ処理③ (様々なグラフ利用) 11. 表計算データ処理④ (データ抽出、クロス集計) 12. 表計算統計分析① (基本的な統計関数:代表値) 13. 表計算統計分析② (散布図と相関) 14. 表計算統計分析③ (回帰曲線と予測) 15. 実データ (学術データ等含む) 課題演習 (実データ検討)

授業計画表

※事前事後学習 (予習・復習) に必要な時間は、担当教員からの指示がない限り、2時間の講義 (90分) に対して予習2時間・復習2時間を原則とする。

回	担当教員・担当教員フリーテキスト	内容	予習	復習
第1回	村本 卓	コンピュータとネットワークの基礎知識	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。

			・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第2回	村本 卓	キャンパスグループウェアの利用方法	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第3回	村本 卓	情報セキュリティとネチケット	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第4回	村本 卓	文書処理①（Wordの基本操作）	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第5回	村本 卓	文書処理②（書式の設定）	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第6回	村本 卓	文書処理③（表作成、図の挿入）	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第7回	村本 卓	文書処理④（長文レポート編集と文書校閲）	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第8回	村本 卓	表計算データ処理①（数式、関数の利用）	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第9回	村本 卓	表計算データ処理②（ヒストグラムの作成）	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第10回	村本 卓	表計算データ処理③（様々なグラフ利用）	・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。	・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。

第11回	村本 卓	表計算データ処理④ (データ抽出, クロス集計)	<ul style="list-style-type: none"> ・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第12回	村本 卓	表計算統計分析① (基本的な統計関数: 代表値)	<ul style="list-style-type: none"> ・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第13回	村本 卓	表計算統計分析② (散布図と相関)	<ul style="list-style-type: none"> ・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第14回	村本 卓	表計算統計分析③ (回帰曲線と予測)	<ul style="list-style-type: none"> ・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
第15回	村本 卓	実データ (学術データ等含む) 課題演習 (実データ検討)	<ul style="list-style-type: none"> ・はちキャンWebにアップロードしている授業用スライド・参考資料を読んでおくこと。 ・授業資料に事前課題等が提示されている場合は、解答しておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容について整理し、不明な点があれば、参考図書、Webサイト等を利用して確認しておくこと。 ・実習課題について、提出物の評価を確認し、復習しておくこと。
評価方法	課題の提出状況等により総合的に評価する。			
参考文献	授業用Webサイトにて随時紹介する。			
講義時使用テキスト	「情報リテラシー Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム (株)			
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。 ・ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。 			
課題に対するフィードバック方法	はちキャンWebにてコメントするとともに、次の授業でフィードバックする。			
卒業認定・学位授与の方針との関連	豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。			

村本 卓 様

ウインドウを閉じる

シラバス参照

講義名	情報処理基礎 看護Bクラス		
(副題)			
開講責任部署	健康医療学部 看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	1.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1時限
校地	大学		
科目分類名	リベラルアーツ		
科目分野名	導入教育		
対象学科	人間健康学科		
対象年次	1		

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 坂本 貴博	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科

学習目標(到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. レポート作成、図表作成技術を活用できる。 2. 表計算ソフトで基礎的計算設定やグラフの作成ができる。 3. 表計算ソフトでデータ分析ができる。
授業概要(教育目的)	<p>今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。</p> <p>本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。</p>
授業計画概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータとネットワークの基礎知識 2. キャンパスグループウェアの利用方法 3. 情報セキュリティと情報倫理 4. 文書処理(1)－Wordの基本操作 5. 文書処理(2)－書式の設定 6. 文書処理(3)－表作成、図の挿入 7. 文書処理(4)－長文レポート編集と文書校閲 8. 表計算(1)－数式、関数の利用 9. 表計算(2)－ヒストグラム作成 10. 表計算(3)－様々なグラフ利用 11. 表計算(4)－データ抽出、クロス集計 12. 表計算統計分析(1)－基本的な統計関数：代表値 13. 表計算統計分析(2)－散布図と相関 14. 表計算統計分析(3)－回帰曲線と予測 15. 実データ(学術データ等含む)課題演習

授業計画表

回	担当教員・担当教員フリーテキスト	内容	予習	復習
第1回	坂本 貴博	コンピュータとネットワークの基礎知識	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第2回	坂本 貴博	キャンパスグループウェアの利用方法	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する

第3回	坂本 貴博	情報セキュリティと情報倫理	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する
第4回	坂本 貴博	文書処理① (Wordの基本操作)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第5回	坂本 貴博	文書処理② (書式の設定)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第6回	坂本 貴博	文書処理③ (表作成、図の挿入)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第7回	坂本 貴博	文書処理④ (長文レポート編集と文書校閲)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第8回	坂本 貴博	表計算① (数式、関数の利用)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第9回	坂本 貴博	表計算② (ヒストグラム作成)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第10回	坂本 貴博	表計算③ (様々なグラフ利用)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第11回	坂本 貴博	表計算④ (データ抽出、クロス集計)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第12回	坂本 貴博	表計算統計分析① (基本的な統計関数; 代表値)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第13回	坂本 貴博	表計算統計分析② (散布図と相関)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第14回	坂本 貴博	表計算統計分析③ (回帰曲線と予測)	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する
第15回	坂本 貴博	実データ (学術データ等含む) 課題演習	事前配布資料に読み、授業の内容を整理する	授業内容について論点を整理する 演習課題を作成する

評価方法	課題の提出状況等により総合的に評価する。
参考文献	授業用Webサイトにて随時紹介する。
講義時使用テキスト	「情報リテラシー Windows10 office2019対応」富士通エフ・オー・エム (株)
学生へのメッセージ	【履修上の注意】 1. 実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。 ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。
課題に対するフィードバック方法	演習課題は、課題完成度の確認結果をフィードバックする。 成績を知りたい学生には個別に開示する。
卒業認定・学位授与の方針との関連	豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。